

横浜市スポーツ医科学センター

指定管理者選定評価委員会 報告書

平成 27 年 9 月

横浜市スポーツ医科学センターの指定管理者の選定にあたり、横浜市スポーツ医科学センター指定管理者選定評価委員会（以下「委員会」という。）は、業務の基準、公募要項、評価項目・基準を作成するとともに、応募団体から提出された申請書類の審査、プレゼンテーション及びヒアリング審査を行いました。

この度、指定候補者を選定しましたので、ここにその結果を報告します。

1 委員会における選定の手順

応募団体は、公益財団法人横浜市体育協会の1団体でした。

委員会では、応募団体から提出された書類の審査を行うとともに、プレゼンテーション及びヒアリング審査として、応募団体からの提案説明を受け選定評価委員による質疑等を行いました。

その後、委員による意見交換、審議を経て各委員の採点を確定し、公益財団法人横浜市体育協会を指定候補者として選定することの可否を審議しました。

2 選定結果

委員会において厳正な選定審査を行った結果、公益財団法人横浜市体育協会を指定候補者として選定しました。

3 得点

横浜市スポーツ医科学センター指定管理者応募者採点集計表

項目		評価点(合計)
1 基本的な考え方		60/60
①	スポーツ医科学センターの役割についての考え方	20
②	管理運営に関する基本的考え方	20
③	事業実施に関する基本的考え方	20
2 事業計画		198/200
①	健康状態や体力に応じたスポーツプログラムサービスの提供	40
②	疾病予防及び治療へのスポーツの活用	40
③	市民の健康づくりの推進	40
④	スポーツ振興、選手の競技力向上	40
⑤	その他センターで実施する事業	38
3 管理運営		139/140
①	市民サービス、業務水準の向上について	20
②	危機管理について	19
③	開館日、開館時間の設定とスタッフ配置・シフト	20
④	スタッフに求められる職能と人材育成について	20
⑤	指定期間中の収支計画	20
⑥	収入増に向けた取組	20
⑦	コスト削減に向けた取組	20
小 計		397/400
4 実績評価		25/(-20~40)
前期の指定管理者の実績(-5~10点)		40
合 計		437/440

4 講評

委員会としての講評（評価コメント）は次のとおりです。

・これまで行ってきた取組は大変評価でき、今後も伸ばして行ってほしいと思う。様々な新しい事業・取組があるが、これについては確実にこれからの5年間の中で達成して行ってほしい。

・純粹に見て、素晴らし取組をしていると感じた。あとは、市民の健康にいかに役立つか、という視点からの貢献を重点的に取組んで行ってほしいと思う。

・貴施設はたくさんの設備等があるが、まだまだ広く認知されていないところもあるので、出来れば2020年のオリンピックまでに、貴施設を利用している選手の中から出場者が出るような取組にも力を入れてもらい、施設の宣伝につなげて行っていければより良いと思う。

・貴施設のような医療とスポーツが非常にかみ合った取組をしている施設は他にあまりない。その取組が今まで以上に充実したものになってきており、尚且つ発展的なプランまで計画をしているというところで、今後の期待できる。今までの取組も十分だが、次は外へ発信していくような取組も行い、全国でのモデルになるような施設になっていくことを期待する。

・スポーツプログラムサービスを基幹事業として位置づけ、一般からプロスポーツ選手まで広範囲にわたりサービスを提供していること、また、運動療法やリハビリを始めとし、各種傷害教室等を実施し事業の拡充を図っていることなど、市の健康寿命日本一に貢献するための取組が評価できる。掲示物や配布物、有料広告等での施設のPRについては、さらに強化して行ってほしい。

5 選定の経過

- | | |
|---------------------|-------------------|
| (1) 第1回委員会 | 5月15日(金) |
| (2) 公募期間(ホームページに掲載) | 6月1日(月)～7月3日(金) |
| (3) 公募に関する質問の受付 | 6月15日(月)～6月24日(水) |
| (4) 公募に関する質問の回答 | 6月29日(月) |
| (5) 提出書類の受付 | 7月1日(水)～7月3日(金) |
| (6) 第2回委員会 | 7月31日(金) |

6 委員会の開催状況

第1回

議 題	1 委員長の選出 2 会議の公開について 3 業務の基準について 4 公募要項について 5 評価項目及び評価基準について
日 時	平成27年5月15日(金) 18時00分から19時00分まで
開催場所	横浜市スポーツ医科学センター会議室
出席者	河合委員、高橋委員、横溝委員、沖野委員、白井委員
決定事項	1 河合委員を委員長に選任した。 2 第1回は公開、第2回は非公開とすることとした。 3 業務の基準について決定した。 4 公募要項について決定した。 5 評価項目及び評価基準について決定した。

第2回

議 題	1 プレゼンテーション 2 ヒアリング 3 採点 4 審査及び指定候補者選定 5 選定結果報告書
日 時	平成27年7月31日(金) 18時00分から20時30分まで
開催場所	横浜市スポーツ医科学センター中研修室
出席者	河合委員、高橋委員、横溝委員、沖野委員
決定事項	1 申請団体からのプレゼンテーションを行った 2 委員から申請団体に対するヒアリングを行なった。 3 各委員の採点結果を合計し、最終得点を決定した。 4 公益財団法人横浜市体育協会を指定候補者とすることを決定した。 5 事務局より案を説明後、審議し、最終稿の原案は委員長に一任することとした。

7 横浜市スポーツ医科学センター指定管理者選定にあたっての評価項目及び配点

(1人当たり)

評価項目	内 容	配 点	採 点 の 基 準		
1 基本的な考え方		5 点満点×3 項目 = 15 点満点			
① スポーツ医科学センターの役割についての考え方	スポーツ医科学センターの理念、設置意義に基づいて実現したいことなど	5	× 1 15	5 …センターの設置理念を十分に理解し、明確で特に優れた考え方が示されている 4 …センターの設置理念を理解し、明確で優れた考え方が示されている 3 …センターの設置理念をほぼ理解し、適切に考え方が示されている 2 …センターの設置理念について理解に不足する点が見られ、考え方が明確・適切に示されていない点がある 1 …センターの設置理念についての理解に欠け、考え方も不明確・不適切である	
② 管理運営に関する基本的考え方	サービス水準の向上、コストの削減、利用促進、危機管理、人材確保育成、クリニック及び他の各諸室施設の運営方法などに関する基本的な考え方	5			
③ 事業実施に関する基本的考え方	施設の特徴を活かし、センターでどのような事業を展開するのか、事業実施の基本方針と体系、それらが生み出す効果など	5			
2 事業計画		5 点満点×2×5 項目 = 50 点満点			
① 健康状態や体力に応じたスポーツプログラムサービスの提供	スポーツプログラムサービスの具体的な実施方法、実施体制、利用料金、効果など	5	× 2 50	5 …計画内容が特に優れており、具体性及び実現性も大いに認められる 4 …計画内容が優れており、具体性及び実現性が認められる 3 …計画の具体性及び実現性がほぼ認められる 2 …計画は具体性に欠ける点があり、実現性を認めにくい 1 …計画は具体性に欠ける点が多く、実現性を認められない	
② 疾病予防及び治療へのスポーツの活用	疾病予防及び治療へのスポーツの具体的な活用方法と事業内容、利用料金、効果など	5			
③ 市民の健康づくりの推進	市民の健康づくりを進めるための考え方と具体的事業内容、利用料金、効果など	5			
④ スポーツ振興、選手の競技力向上	スポーツ振興への具体的な貢献策、競技力向上に向けた具体的な事業内容、効果など	5			
⑤ その他センターで実施する事業	スポーツ指導者の養成、スポーツ医科学に関する研究、情報の収集・提供など、その他センターで実施する事業の考え方と具体的事業内容、効果など	5			
3 管理運営		5 点満点×7 項目 = 35 点満点			
① 市民サービス、業務水準の向上について	市民サービスのあり方、業務水準の向上、施設の PR、利用促進策、モニタリング等についての具体的計画	5	× 1 35	5 …特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4 …優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3 …考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2 …考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1 …考え方と具体策に抽象的・不明確な点が多く、実現性を認められない	
② 危機管理について	安全な医療の確保、緊急時の対応、リスク回避についての具体的計画	5			
③ 開館日、開館時間の設定とスタッフ配置・シフト	開館日及び開館時間、施設毎の営業時間、これに即したスタッフの配置とシフトについて、担当業務別・職種別の具体的計画	5			
④ スタッフに求められる職能と人材育成について	センターに配置するスタッフの職種及び資格、人員配置、雇用形態、責任者の配置、求められるスキルとその育成策など	5			
⑤ 指定期間中の収支計画	平成 18 年度から 22 年度までの指定管理経費(維持管理運営費-施設運営収入)の考え方、目標及び年次計画	5			
⑥ 収入増に向けた取組	利用料金を中心とした収入増を実現するための具体的方策及び年次計画	5			
⑦ コスト削減に向けた取組	コスト削減、効率的運営のための具体的方策及び年次計画	5			
4 実績評価(現指定管理者が応募した場合)		10 点～-5 点の範囲で評価			
評 価	S	極めて優秀	10	× 1 10 ～ -5	S…指定開始当初に交わした協定書の内容より、大きく実績が上回る A…指定開始当初に交わした協定書の内容より、実績が上回る B…指定開始当初に交わした協定書の内容の下限を保持 C…指定開始当初に交わした協定書の内容の下限を満たさない
	A	優秀	5		
	B	良好	0		
	C	不良	-5		
計		110 点 満 点			

8 横浜市スポーツ医科学センター指定管理者選定評価委員会委員（順不同・敬称略）

委員長	河合 祥雄	順天堂大学名誉教授
委員	高橋 正明	群馬パース大学保健科学部長
委員	横溝 三郎	東京国際大学駅伝部総監督
委員	冲野 智子	日本公認会計士協会神奈川県会 公認会計士
委員	白井 勇次	横浜市スポーツ推進委員連絡協議会副会長